

ここが違う！こんなに差が出る！

内城菌を使った土壌菌農法の特長

地球と人にやさしい画期的な農法として、土壌菌(微生物)を使った農法が脚光を浴びています。中でも内城菌を使った土壌菌農法は、他の微生物資材に比べ、大きく4つの特長を持っています。



★内城菌とは

昭和30年代に、農法研究家の内城本美氏(うちしろもとみ)が発見した複合土壌菌です。内城菌は、内城菌を活用して生成した土壌改良材で、内城菌と同じ特長を備えています。

特長 1 農作物の品質が向上

味が良くなる

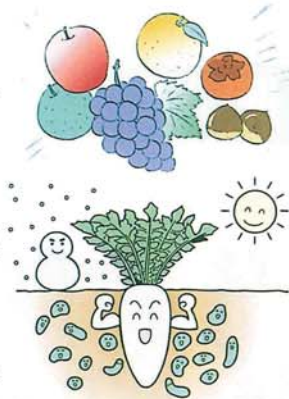
うま味成分であるアミノ酸が増え、果実は糖度が増します。

病気に強くなる

土壌に病原菌が入りにくくなり、農作物も丈夫に育つので、結果的に減農薬になります。

収穫量が増える

「米が1俵多く収穫できた」「不作の年も十分な収穫があった」という体験が多数報告されています。



特長 2 高温で活性化するので衛生的

内城菌は摂氏80度という高温で活性化する菌なので病原菌が入りにくく、安全性の高い微生物土壌を作ります。



特長 3 バランスのとれた土壌菌の集合体

土壌菌には糸状菌(カビ)、放線菌、酵母菌、細菌(バクテリア)などがあり、内城菌はそれらの菌と協力して働きます。

そのため、連携プレイで素早く生ゴミを分解するなど、単体の土壌菌を使用した場合よりも効率よく土壌を良い状態にします。



特長 4 自然の中から生まれた実績のある土壌菌

内城菌は植物が良く育つように工夫して培養されています。また、バイオテクノロジーによって開発されたものではなく、数十年の歳月を経て少しずつ実績をつくってきた歴史のある菌です。





おいしい作物は 元気な土作りから...

内城菌はどうやって使うの？

内城菌で
元気な
土を作る

元気な
土を作るには
作土と内城菌を
20:1 (5%)の割合で
よく混ぜ合わせよう！



次に内城菌が
繁殖しやすいよう
適度に水をあげてね！
(水分量60%)



2~3日経つと
白い糸状菌が
出てくるよ！



1



2



3



6



5



4

注意 わかせずにそのまま使用すると...
弱ったり枯れたり
します
※微生物が繁殖する時に
ガスが発生するため